

今週のビルマのニュース
2010年9月17日【1034号】

総選挙をめぐる動き～テインセイン首相が立候補
選管委がNLD解党を発表

・選管委は、8月に軍を退役したと見られるテインセイン首相や軍政ナンバー3のシュエマン氏らを連邦団結発展党(USDP)の候補者として承認した。両氏の選挙区は首都ネピドーにある。ネピドーではUSDPと親軍政の民族統一党(NUP)しか立候補者を出していない(16日イラワディ)。

・選管委は14日、民主化運動指導者アウンサンスーチー氏が率いる国民民主連盟(NLD)など、政党登録手続きを行わなかった、あるいは完了しなかった10の政党が解党されたと発表した(14日イラワディ)。これについて国連の潘基文事務総長は15日、参加型の選挙を実施する環境を確保するよう改めて軍政に呼びかけた(16日AFP)。

・国営メディアは16日、少数民族が多く住むカチン・カレンニー・カレン・モン・シャン州(ワ自治区を含む)の複数の選挙区で投票を実施しないことを発表した(17日イラワディ)。

・情報筋によれば、選管委はカチン州進歩党(KSPP)党員14人が無所属候補として総選挙に出馬するのを認めないとのこと。KSPPはカチン州住民から大きな支持を得ているが、選管委はKSPPの政党登録も承認していない。KSPP創設者が以前カチン独立機構(KIO)の副議長だったことから、KSPPに対する措置はKIOが軍政の要求通り国境警備隊に編入するのを拒否していることへの報復措置だとも見られている(16日イラワディ、ロイター)。

カレン民族同盟(KNU)が一日停戦へ

・1949年以来ビルマ政府に抵抗しているカレン民族同盟(KNU)は15日、国連平和デーである21日に一日停戦をする予定だと発表した(KNU声明)。

ビルマへの政府開発援助(ODA) 約束状況など

新たな発表はなし

注目の記事

【書評】根本 敬 著「抵抗と協力のはざまー近代ビルマ史のなかのイギリスと日本」
9月12日朝日新聞に掲載
<http://book.asahi.com/review/TKY201009140157.html>

イベント情報

・【軍事クーデターから22年】ビルマ軍事政権のすすめる総選挙に反対するグローバル・アクション(デモ行進) 主催：在日ビルマ人民民主化活動家(18日、14時～恵比寿公園集合、15時～出発)

・「カタログハウスの学校」セミナー『ビルマVJ消された革命』上映会、講師：土井香苗(ヒューマン・ライツ・ウォッチ東京ディレクター)(新宿・カタログハウス本社ビル、18日14時～)

・ビルマ・タイ・日本料理会「第1回料理を通して知るビルマ/ミャンマー」J-FUNユース主催(目黒区緑ヶ丘文化会館、19日11時～)★12日までに申込

・日本ビルマ救援センター2010年夏 国境訪問報告会(大阪・弁天町市民学習センター、23日14時)

・第14回ビルマ市民フォーラム総会 総選挙を前にした最新情勢「希望もなく、やる意味もない、ビルマの儀礼的総選挙」根本 敬、アシン・ターワラ師、在日ビルマ人民民主化活動家(文京シビックセンター内5階会議室AB、25日18時半～)

・第11回ビルマの国民的行事「ダディンジュ祭」主催：国民民主連盟(解放地域)日本支部(日比谷公園 小音楽堂・広場、26日11時～)

・ドキュメンタリー『ピュア ビルマ難民キャンプの子どもたち』上映・講演会：ビルマ(ミャンマー)と日本・今治 今治明德短期大学・市川教授主催、ココラット氏による映画の解説、フォトジャーナリスト宇田有三氏のスライド上映・講演(今治市、第55番札所 南光坊本堂、26日13時～)

もっと詳しい情報は

きょうのビルマのニュース(平日毎日更新)
<http://www.burmainfo.org/news/today.php?mode=2>

Twitter公式アカウントはBurmaInfoJapan

ビルマ情報ネットワーク
<http://www.burmainfo.org>

お問い合わせ

ビルマ情報ネットワーク 秋元由紀
yuki@burmainfo.org 080-2006-0165